

# 実践ライブラリー: 中学部 作業学習(陶工)「地域の人に使ってもらおう！」



粘土で器等の作品が作れるようになりたい。  
家族のために作品を作り、喜んでもらいたい。  
いろいろな人に喜んでもらえる物を作りたい。



喜んでもらえる作品とはどのようなものか、  
使う人の立場に立って考えて欲しい。  
使う人が喜んでくれることで、働く喜びを感じて欲しい。

## ①第一次・地域の人に使ってもらえる作品を考えよう

日頃お世話になっている地域の人に喜んでもらえるものを作ることを確認しました。



一人ひとりが、どこの施設やお店に持って行くか、どんな用途のもので、どんな形や色、デザインにすると喜んでもらえるかを考えて話し合った。また、自分の考えを、職員室の先生に聞いてもらいアドバイスをもらった。



### おすすめポイント

友達の考えに加え、大人の意見を聞くことで、自分の作品の推しポイントを考えられたり、使う人がどう思うか、想いを巡らせた。りできた。

## ②第二次・作品を作ろう

先生にインタビューしたことで具体化したイメージをもとに、作品作りを行った。素焼きをする前に、再度同じ先生にアドバイスをもらいにいった。

お店に渡したいから、カウンターに置いて使ってもらえて、ペンが1、2本置けるような、小さめのペン立てがいいかも！



大きくてたくさん入る。1本ずつ挿せて取りやすい。消しゴムなどの小物置き場があることを、ほめられた！忘れないうちにメモしよう！

## ③第三次・作品を配達しよう

コミュニケーションを取ることも学んで欲しかったので、相手先に自分でアポイントを取りました。使ってもらいたいと考えて作品作りしたこと、持って行く日時など、緊張しながらも、電話でやりとりができた。



### ポイント

成功体験を積み重ねるため、生徒が電話する目的と時間を予め教師が相手先に伝え、協力依頼した。

## ④第四次・報告会

配達してみて、自分が感じたこと、相手先の方がどんな反応だったか等を報告した。使う人が喜んでくださっていることを実感し、確認することで、作る(働く)喜びを確認できた。



緊張したけどうまく話して、渡せて嬉しい！

### おすすめポイント

相手先からいただいた、感謝の手紙なども紹介することで、喜びを深められた。

